

新任教授紹介

最先端技術とダイバーシティに根差した医療の融合

放射線医学講座 教授 城戸輝仁

放射線科は病院の中央診療部門に属し、①画像診断、②IVR（インターベンショナル・ラジオロジーというカテーテルを用いた血管内治療）、③放射線治療（がんに放射線をあてることにより、がん細胞のDNAに損傷を与え治療します）の三本柱からなっています。当院には世界トップレベルの診断治療機器が設置されており、来年度には新しい放射線治療装置も導入されます。

私の専門は心臓の画像診断であり、拍動する心臓を鮮明な画像として撮影し、その形態や動き、血液の流速情報などを定量解析（画像情報を数値化）するという技術を研究しています。画像情報を数値化することで客観的な診断が可能となりますし、今後は画像から導き出される数値の意味をAIに学習させることで、将来起こりうる様々なリスクの予測を行い、診断・治療に生かせるようになって考えています。

また今年度からは女性医師に医局長を務めて頂くなど、積極的な女性医師の活用にも取り組んでいます。最先端技術だけが日々進歩するのではなく、医療者が機械や技術を使いこなせるように知識を身につけ、様々な視点から患者さんの多様な要望に応えられるチームを創りたいです。

**PROFILE**

きどてるひと◎2001年愛媛大学医学部卒業。日本医学放射線診断専門医、日本核医学会専門医、日本脈管学会認定脈管専門医等の資格を所持。2020年4月より現職。夏は海でジェットスキー、冬は山でスキーと、年中スポーツを楽しむ。